

令和7年度 和歌山県看護研究学会を開催しました

学会テーマ：「ハッピーな看護を創る」
開催日時：令和8年2月7日（土）
参加者：約160名



特別講演：「ハッピーな看護を創る」



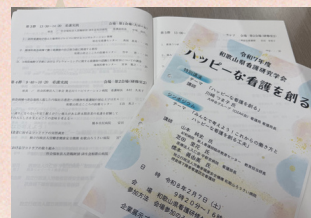
ご講演の中で、大坪会グループ（OZAK会）看護局長の川崎つま子先生は、患者さんがハッピーになるためには「看護する自分自身がハッピーになることが大切」と話されました。多くの参加者が頷いたり、熱心にメモを取りながら聴講していました。

シンポジウム：「みんなで考えよう！ハッピーな看護を創る工夫」

新人教育、人材確保と育成、プラチナナースの活用など、今まさに困っていることや新しいことに積極的に取り組まれている県内3病院の教育担当者や看護部長にご発表いただきました。まだ取り組みの最中ということですが、どの施設にもヒントになるような貴重なお話をありがとうございました。



一般演題23の発表がありました



緊張されながらも、まとめあげた研究発表を自信を持って発表されていました。業務も大変な中、お疲れさまでした。

未来の仲間、看護学生さんのボランティア活動も応援しています



和歌山県立医大保健看護学部の学生さんが、こども食堂を訪問するボランティア活動をまとめて、発表してくれました

海南市PRキャラクターの海ニャンが特別ゲストでできてくれました



研究発表された皆様、参加された皆様、学会運営にご協力をいただいた皆様、ありがとうございました。令和8年度の学会も多くの皆様のご参加をお待ちしています！！